

YIA Newsletter

Summer
2025

TAKE FREE

公益財団法人 山梨県国際交流協会

地域日本語教室でつながる



大月市日本語教室 に行ってみた!



地域日本語教室



もちづき

はじめまして!4月から山梨県国際交流協会の職員になりました望月寛子といます。大いに不安がありますが、ワクワクするような活動ができたらと思っています。どうぞよろしくお願いします。

● 山梨県が進めている日本語教育事業

2024年6月末、山梨県における在留外国人数は2万2千人を超えました。山梨県では、誰もが自分らしく活躍できる社会づくりを目指し、外国人のみなさんが「安心して働ける環境づくり」「安心して暮らせる環境づくり」を目標に事業を進めています。「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を図ることを目的とする文化庁の事業を活用して2020年度から「山梨県地域日本語教育推進事業」を実施しています。市町村が主催する日本語教室の運営支援、オンラインによる基礎日本語クラスの運営、生活日本語プログラムの開発など、日本語教育の充実を図っています。



● 地域日本語教室って?

地域日本語教室は、「山梨県地域日本語教育推進事業」を活用して市町村が運営している日本語教室です。多くの皆さんがイメージするいわゆる「勉強」の場ではありません。コミュニケーションをとりながら「ことば」と「他者」を理解する「学び合い」の場です。日本語やコミュニケーションスキルを学ぶだけでなく、同じ地域に住む皆さんで地域のこと、互いのことを理解し合ってつながりを育むところです。教室では、「病院に行く」、「私たちのまちを知る」、「もし地震がおきたら?」など、生活に関するテーマのもと活動します。教室は、外国人住民、パートナー（地域住民ボランティア）、日本語教師、市町村が協力し合って進めます。



● パートナーとは?

地域日本語教室で活動する住民ボランティアを「パートナー」と呼んでいます。パートナーは、教室に参加する外国人住民や他のパートナーと一緒に、生活をテーマに日本語で話したり、考えたり、情報交換をしたりして、みんなで住みやすい地域づくりを目指します。

地域日本語教室をご存知ですか?

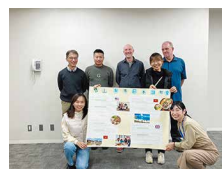
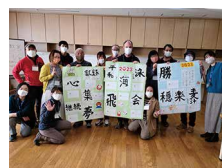
「地域にある教室?」「どんな人が参加しているの?」さまざまな疑問が浮かんできますね。一体どんな教室なのか、早速みていきましょう!



● パートナーになるには?

パートナーは年に1度、募集をしています。パートナーとして活動いただくためには、全5回の研修会(参加無料)への参加が必要です。国籍、年齢、経験、外国語能力の有無は問わず、興味がある方ならどなたでも参加できます。

令和7年度のパートナーの募集は、6月25日までです。



● 地域日本語教室が開かれているところ

令和7年度は9つの市町村(甲府市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、笛吹市、上野原市、富士河口湖町)で教室が開催されます。

外国人住民は、住んでいる、もしくは働いている市町村の教室に参加することができます。日本語をはじめて使う人も、たくさん話せる人も、誰でも無料で参加できます。

山梨県には、地域日本語教室の他にも、日本語教室や日本語学校等もあります。

パートナー募集や日本語教室に関する情報の詳細は、「山梨県国際交流・多文化共生センター」ホームページをご覧ください。



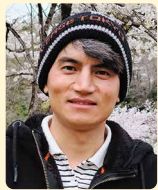
山梨県地域
日本語教室の
Facebookと
Instagramはこちら



Interview 大月市日本語教室

地域日本語教室の一つ、大月市日本語教室を紹介します。

大月市日本語教室は2022年にスタートし、今年で4年目を迎えます。参加する外国人住民の国籍や年齢、背景、日本語レベルは様々ですが、それぞれ自分の目標に向かって取り組んでいます。



モクタン・メイアさん(ネパール出身)

Q: どうして日本に来ましたか。

A: はじめは、ただ自分の将来を考えて、日本に来ました。今は仕事をしながら日本文化を知ることができるのが、とてもうれしいです。

Q: どんな仕事をしていますか。

A: 家の屋根や壁をはる仕事です。大月市にある会社で働いています。去年1月の能登半島地震では、会社でボランティアに行きました。地震で壊れた家を直しました。ネパールでも11年前に大きな地震があり、いろいろな国から支援をもらいました。今度は自分が困っている人たちの力になれてよかったです。

山梨県で災害ボランティアに参加した初めての外国人だったので、同じ会社で働くアチャラ・サントスさん(ネパール出身)と一緒に、山梨県知事から感謝状をもらいました。サントスさんも大月市日本語教室に参加しています。

Q: 大月市日本語教室にはいつから参加していますか。

A: 来日した2023年から参加しています。

Q: 教室はどうですか。

A: 以前は、会社とアパートの往復だけでした。教室に行くようになってからは、ネパール人の仲間に会えたり、他の国の友達と会えたり、日本人と話したりできて、とても楽しいです。お正月のあいさつや過ごし方を紹介し合ったことは、とても印象に残っています。

Q: 大月市はどうですか。

A: 緑が多くて静かです。それに市民がやさしいです。駅で切符の買い方がわからないときや、スーパーでほしいものの日本語の名前がわからないとき、教えてくれました。

Q: 山梨県に住んでいる外国人にメッセージをください。

A: 外国人は日本に来て、仕事も日本語もできなくて大変です。つらいことも多いです。でも、私は自分の役目をきちんと果たせるように、仕事も日本語も頑張っています。みなさん一緒に努力しましょう。



メイアさん(後列右から4番目)
サントスさん(後列左から4番目)



藤本 祥子さん(パートナー)

Q: どうしてパートナーになろうと思いましたか。

A: 以前から日本語教室に興味がありました。アメリカ人の友だちがいたことも、興味が増したきっかけだと思います。大月市日本語教室がスタートした2022年度から参加しています。

Q: 教室に参加してどうですか。

A: 国や話すことば、年齢も仕事も違う人と知り合えたのがよかったです。みなさんの国の話を聞いたり、イベントを一緒にしたりするの

とても楽しいです。

Q: 教室に参加してから、日常生活で変化したことはありますか。

A: 市内にはたくさんの外国人が住み、働いていることを初めて知りました。スーパーに行っても外国の方に目を向けるようになりました。

Q: 山梨に住んでいる外国の方にメッセージをお願いします。

A: 同じ山梨に住む人として、私たち日本人もみなさんと仲良くなりたいと思っています。外国人と日本人ではなく「人」として交流していきたいです。外国の方にもそう思ってもらえると嬉しいです。



紫村 亮斗さん(大月市企画財政課)

Q: 大月市日本語教室を開いた目的は何ですか。

A: 日本人の人口が減少し、地域活性化の取組には外国人が不可欠と考えましたが、大月市では多文化共生に向けた取組が全く進んでいませんでした。日本語教室の開設が多文化共生推進のきっかけとなればと思いました。

Q: 教室を開設してよかったと感じた瞬間や出来事がありますか。

A: 今まで知らなかった文化や暮らしなどを知ることができましたし、教室以外の場所でも外国人参加者と交流し、教室で学んだ

ことが実践できていると感じられた時、開設してよかったと思いました。

Q: これから日本語教室に期待することは何ですか。

A: 今後、地域における外国人との共生社会を実現することがますます必要となります。これからも、日本語教室が日本語学習だけではなく、生活や文化について地域住民と相互に理解をしていく場になれば期待しています。

今年度の大月市日本語教室は7月13日にスタートします。

日時 土曜日 10:00~12:00

場所 大月市市民会館



山梨県では、全国に先駆けて『日本語教育の参照枠』に基づく「生活 Can do」を用いた生活に関する日本語教育プログラムを開発しています。今後は、この山梨県版「日本語教育プログラム」を日本語教室はじめ、多文化共生理解など様々な場面でご活用いただけるよう準備を進めていきます。

日本語教室に関するお問い合わせ: 山梨県地域日本語教育総括コーディネーター 古屋玲子

✉ y-nihongo@yia.or.jp TEL 090-7705-7513

地域異文化ふれあい広場① 「一緒にゴミ拾いしませんか」

5月18日(日)の朝、地域異文化ふれあい広場①「一緒にゴミ拾いしませんか」を開催し、30名を超える外国人住民の方に参加いただきました。当日は外国人と日本人がペアを組み、交流をしながら甲府駅周辺でゴミ拾いを行いました。

参加外国人の出身地はさまざま、ジンバブエ、メキシコ、ナイジェリア、チェコ、ネパール、ベトナム、コロンビアなど13カ国にのぼりました。みなさんの表情はとても明るく、一緒に作業することを楽しんでいる様子がうかがえました。「地域の人と話す機会ができてよかった」「また参加したい」などの声が聞かれました。

ゴミ拾いの後、希望者は竹灯籠づくりを体験しました。この竹灯籠は、武田神社で開催された信玄光芸術竹灯籠祭'25において、一緒に灯されました。

ご協力いただきましたNPO法人まるごみJAPANは2006年に千葉県浦安市で発足した環境改善活動団体です。山梨県では原則、毎月第4日曜日の朝、甲府駅周辺のゴミ拾いを行っています。



▲ 甲府駅周辺でのゴミ拾い
竹灯籠づくりを体験 ▶



新しい団体の紹介 「バハール山梨」代表 ジェイソン プラットさん 山梨県立大学国際政策学部准教授

バハール山梨は、富士山の麓から、アフガニスタンのより良い平和な暮らしのために、小さな団体ではありますが活動を通じてできる限りの貢献をしたいと考えています。

2001年のテロ事件で祖国アメリカが苦しんだ際、テロリストの拠点がアフガニスタンとされましたが、実行犯にアフガニスタン出身者はいませんでした。彼らは、アフガニスタンの人々の生活を困難にした他国の者たちだったのです。

アフガニスタンは常に戦禍に見まわれている国と思われがちですが、1970年代までは平和な王国でした。ソ連の侵攻がその平和を破壊し、人々は不本意ながら戦争の犠牲となりました。

私は偶然、在日アフガニスタン大使館で7年半勤務し、アフガニスタンの人々の素晴らしさ、友好的な人柄、温かいおもてなしの心に触れました。タリバンが再び権力を掌握した今も、アフガニスタンに平和が訪れるよう微力ながら貢献したいという思いは変わりません。

バハール山梨は、山梨県立大学の学生たちと共に設立した一般社団法人です。アフガニスタンを愛する若い学生会員たちが中心となり、アフガニスタンの人々の声を山梨から日本、そして世界へと発信しています。

私たちの活動は、アフガニスタンの輸入品の紹介・販売や、地域のイベントでの文化紹介などです。どんなに些細なことでも、アフガニスタンの人々にとっては重要な意味を持ちます。皆様のご支援は、本当に意義深いものです。

ぜひ、私たちのSNSをご覧ください。コラボレーションのご提案もお待ちしております。



バハール山梨ホームページ

<https://www.baharyamanashi.com> ▶



JICA 通信

世界で活躍している山梨県民 from タンザニア



布地屋に並ぶキテンゲ

キテンゲで仕立てたワンピースを着る私



シスターからアクセサリづくりを学ぶ女性たちとの一枚



裁縫技術を学んでいる女性からミシンのかけ方を教えてもらう様子

Habari zenu! (スワヒリ語でこんにちは。)
私は昨年4月にタンザニアの首都ドドマに赴任し、コミュニティ開発隊員として活動しています。赴任後約1年が経過しましたが、先日、「日本人にタンザニアの特長を5つ説明するとしたら何を選ぶ?」と現地の仕立屋さんから質問されました。人々の寛容さや優しさ、ファッション、ごはん、言語、宗教、働き方など、5つではとても足りないくらい、様々なことについて紹介したいと思います。

特に、現地の方々のファッションセンスの良さには目を見張るものがあります。タンザニアでは、キテンゲやカンガといった、日本でアフリカン・ファブリックとも呼ばれる布地が、種類豊富に販売されています。布の色合いや柄、素材、質も様々で、価格もお店によって異なるので、私も時々値段交渉をしながら、買い物を楽しんでいます。好きな布地を買ったら、今度は馴染みの仕立屋に持っていき、服を仕立ててもらいます。もちろんお店や市場で既製品の洋服

も売っていますが、自分でデザインを決めて好きなように仕立ててもらう楽しさと、出来上がった時の嬉しさは格別です。

さて、私は現在、カトリック教会のシスターと協力して、女性の経済的自立支援に取り組んでいます。シスターたちは、蠟燭やアクセサリ、石鹸といった、収入につながる商品作りを女性たちに教えています。中でも、上記のようにタンザニアでは仕立屋の需要が高いことから、特に裁縫技術の指導に力を入れています。裁縫を学ぶには時間と労力がかかりますが、一度身に着ければ必ず、自分で生計を立てていく糸口となります。

裁縫については、私は技術を教えられないのですが、ビジネスや収入管理に関わる知識を強化していくという面で、経済的自立支援の一助になればと思っています。長年女性支援に携わってきたシスターたちから私自身も多くを学べることへの感謝を忘れず、日々の活動を楽しんでいきたいです。

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテストの募集が始まります!

募集期間: 2025年6月上旬~2025年9月上旬(予定)

2025年度募集テーマ 世界の幸せのために私たちができること~未来へつなげるために~
問合せ先 JICA 山梨デスク 国際協力推進員 宮本((公財)山梨県国際交流協会内)
✉ jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp



コンテスト募集案内
<https://www.jica.go.jp/cooperation/experience/essay/index.html>



JICA山梨デスクHP
<https://www.jica.go.jp/domestic/yokohama/office/suishinin.html>



JICA海外協力隊HP
<https://www.jica.go.jp/volunteer/>

まるでタイ旅行♪ タイの味、ここにあり!

That SELECT
THAI RESTAURANT Soi 7

山梨県で唯一、タイ政府認定「タイセレクト」のタイ料理店!

☎ 400-0043 山梨県甲府市面母7丁目10-11 ☎ 055-227-8660

THAI RESTAURANT SOMTAM ソムタムSoi7

【お仕事たくさんあります!】
英語・ポルトガル語・スペイン語
ベトナム語・タガログ語

アシスト エンジニアリング
〒409-3841 山梨県中央市布庵 2106-1
☎ 0120-713-809
<https://www.assisteng.co.jp>

あなたに合った
仕事がきっと見つかる

株式会社 アルビス
☎ 0120-053-052
〒409-3822 中央市下三郷550 やまなし転職・就職ナビ

日本で暮らしたい
その思いを専門知識と誠意を持って
丁寧にサポートいたします。

ビザサポートやまなし

外国人の方が日本で暮らすためのビザのことなら
ビザサポートやまなしにおまかせください!

行政書士市川雄資事務所
TEL 055-242-8874
山梨県甲府市丸の内2-30-5 甲府電化ビル 3F 302

民泊・旅館業など許認可手続き
相続、農地、外国人雇用
についてお悩みなら
お気軽にご相談ください

☎ 080-1125-8623
受付時間 9:00 - 18:00 (日・祝日除く)

高石行政書士事務所
山梨県笛吹市春日居町鎮目193-47

あなたにあったお仕事を紹介します!
日本語が少し分かれば働けます。

株式会社ネクストエイジ ☎ 055-275-3216
派19-300122 19-ユ-300091 中巨摩郡昭和町河東中島963-1

6/28 Sat. 地域異文化ふれあい広場② 「インドネシアへの招待」

インドネシア出身のファドリーさんに、多民族国家インドネシアの文化や、世界無形文化遺産に登録されている伝統舞踊「サマン・ダンス」を紹介いただき、日本とインドネシアの生活の違いなどについて考えます。

開催日時 6月28日(土)10:00~11:30

場 所 びゅあ総合
3階 音楽室

定 員 25名

参加費 無料



7/6 Sun. 国際協力セミナー 「上映会&トークイベント」

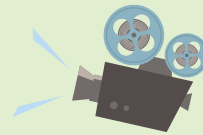
ガザ出身医師に迫るドキュメンタリー映画「私は憎まない」上映および、NGO職員に、現地とオンラインでつながりながらパレスチナ市民の様子についてお話いただきます。

開催日時 7月6日(日)13:30~16:30

場 所 びゅあ総合 2階 中研修室

定 員 40名

参加費 無料



7/12 Sat. 異文化理解講座

ベトナム料理の「パインゴイ」とブラジル料理の「パステウ」をみんなで一緒に作って試食します。

開催日時 7月12日(土)13:30~16:00

場 所 びゅあ総合 2階 調理実習室

定 員 15名

参加費 無料



8/2 Sat. 地域異文化ふれあい広場③ 「世界の遊び」

タイ、インドネシア、ブラジルなどの子供たちの遊びと一緒に楽しみながら、異文化にふれあいます。

開催日時 8月2日(土)14:00~15:30

場 所 びゅあ総合 2階 中研修室

定 員 定員:25名

参加費 無料

※募集開始は7月1日

幼児・小学生
大歓迎!



がいくじん そうだんしえん やまなし外国人相談支援センター

Yamanashi Consultation and Support Center for Foreign Residents

がいくじん みな
外国人の皆さんからのさまざまな相談を受け付けています。
にほんご だいじょうぶ こま でんわ
日本語がわからなくても大丈夫です。困ったら電話してください。
相談は無料です。

受付 かようび じようび
受付: 火曜日から土曜日 9:00~17:00(祝日・休館日を除く)

場所: 国際交流・多文化共生センター

TEL: 055-222-3390



がいくじん むりようほうりつそうだん よやくせい 外国人のための無料法律相談(予約制)

Free Legal Consultation for Foreign Residents

弁護士 たいおう
弁護士が対応します。

にちじ まいつくだい1すいようび
日時: 毎月第1水曜日 18:30~21:00

まいつきだい3どうようび
毎月第3土曜日 13:00~16:00

げんご えいご こ ちゅうごくご かんこくご
言語: 英語 ポルトガル語 中国語 韓国語ほか

ないよう ふとうかいこ ろうさい ぜいきん ねんきん ほけん いりよう しゅつにゅうこく けっこん
内容: 不当解雇・労災・税金・年金・保険・医療・出入国・結婚など

ばしよ こくさいこうりゅう たぶんかきようせい
場所: 国際交流・多文化共生センター TEL: 055-222-3390



やまなしけんこくさいこうりゅうきようかい 山梨県国際交流協会(YIA) 最新情報

SNS



けんりつこくさいこうりゅう たぶんかきようせい 県立国際交流・多文化共生センターホームページ

Web

こくさいこうりゅう こくさいきょうりく たぶんかきようせい かくしゅじぎょう
国際交流・国際協力・多文化共生の各種事業に
かん じょうほう かくにん
関する情報はこちらからご確認ください。



編集後記

2024年6月末の時点で、山梨県人口における約2.85%、およそ35人に一人が外国人住民となりました。出身も100カ国を超えています。文化や考え方の違いがあって難しいこともたくさんあると思いますが、同じ地域に住むご近所さん同士、互いに尊重し合って心地よく暮らしていけたらいいなと思います。地域日本語教室、お互いを知るきっかけの一つになればと思います。 望月

YIA Newsletter 2025年 夏号

編集/発行 公益財団法人 山梨県国際交流協会

〒400-0862 山梨県甲府市朝気1-2-2

TEL 055-228-5419 FAX 055-228-5473 受付時間 8:30~17:15

休館日 毎週月曜日(祝祭日を除く) および祝祭日の翌日、年末年始(12/29~1/3)

Email: webmaster@yia.or.jp